PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2000-285509

(43)Date of publication of application: 13.10.2000

(51)Int.CI.

G11B 7/24

(21)Application number: 11-095005

(71)Applicant: RICOH CO LTD

(22)Date of filing:

01.04.1999

(72)Inventor: KINOSHITA MIKIO

HARIGAI MASATO

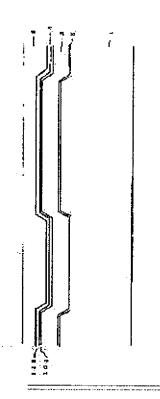
SHIBAKUCHI TAKASHI

(54) DRAW TYPE OPTICAL RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an optical recording medium using inorganic recording materials and having recording density equal to that of DVD-ROM.

SOLUTION: The optical recording medium has at least a light interference layer 3 on a translucent layer on a substrate 1 and a recording layer 4 on the light interference layer. The recording layer has a 1st recording layer 104 comprising a metal, a metalloid or an alloy of these and a 2nd recording layer 105 comprising Ge. The material of the 1st recording layer is, e. g. Al, Au, Ag, Cu, Pt, Pd, Sb, Te, In, Sn, Zn or the like, its compound or alloy. The translucent layer is, e.g. a thin film of Al, Au or Si. The light interference layer comprises known derivatives such as ZnS.SiO2, SiO2, MgF, SiN, InO or ZnO.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)。[12] 公。開、特、許、公報(A) (11)特許出願公開番号。這是19] 100001 (P2000 - 285509A) 是来 (43)公開日 平成12年10月13日(2000.10.13) 「推束の技能」し (51) Int.CL:學學學生活學的複數則記号,這一句一句自身發 FI 自然經過數學協能差元72十7(多考)工法 G11B 7/24 FEST 5 2 2 1 / Ct 13 4 10 S G11B 7/24 5 7 (5 2 2 B) 5 D 0 2 9 13 推集と流れメディッを旅信用修復電子して展売を食てい AND THE STATE OF THE PROPERTY OF 51.1 A. W. Walder 1807 - 1585C XX 195168 1. 5 3 5 G Andrews Lawrence 審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 6 頁) 最終頁に続く特願平I1-95005 (71)出願人 000006747 ごご立立 ニ・パンジャッド・ 1112000 「「「」、株式会社リコー」、 「「ALE Self Ale Self Al (22)出顧日 平成11年4月1日(1999.4.1) 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内 (72)発明者 針谷 貸入 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内 (74)代理人 100078994 弁理士 小松 秀岳 (外2名) 最終質に続く

(54) 【発明の名称】 追記型光記録媒体

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 DVD-ROMと等容量の記録密度をもつ、 無機系の記録材料を用いた光記録媒体を提供する。

【解決手段】 基板1上の半透明層上の光干渉層3、該 光干渉層上の記録層4を少なくとも有し、かつ、該記録 層が金属または半金属あるいはこれらの合金から成る第 1記録層104とGeから成る第2記録層105とを有 することを特徴とする追記型光記録媒体である。第1記 録層の材質は、A1, Au, Ag, Cu, Pt, Pd, Sb, Te, In, Sn, Zn等で、化合物や合金を含 む。半透明層は、A1薄膜、Au薄膜、Si薄膜などで ある。光干渉層は、ZnS・SiO2、SiO2、Mg F、SiN、InO、ZnO等公知の誘導体である。

1000618893136000222222222316 SECONDERVISOR A COUNTRY TO SECONDERVISOR ASSETTANT ASSETTANT

【特許請求の範囲】。造物的(こ)

(A) **羅** 公

【請求項1】 基板上の半透明層、該半透明層上の光干 渉層、該光干渉層上の記録層を少なくとも有し、かつ、 該記録層が金属、または半金属、あるいはこれらの合金 から成る第1記録層とGeから成る第2記録層とを有す ることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項2】 請求項1においてモジュレーションが6° 0%以上であることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項3】 請求項1または2において第1記録層を Au、Cu、Agあるいはこれらの合金とし、かつ、該 10 第1記録層の膜厚を30nm以下の範囲とすることを特 徴とする追記型光記録媒体。

【請求項4】 請求項1または2において第1記録層をA1あるいはこれらの合金とし、かつ、該第1記録層の膜厚を20nm以下とすることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項5】 請求項3または4において、記録層の層構成が、読みとり光の入射面に近い側に第1記録層が配置され、記録マーク部分の反射率が低下することを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項6】 請求項2、3、4、または5において光 干渉層の屈折率を n、膜厚を d、記録波長を入と表す表 式において、これらが、

- 1.9≦n≦2.5 🐬 🗀
- $0.25 \le nd/\lambda \le 0.35$
- 600nm≤λ≤680nm

の範囲にあることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項7】 請求項2、3、4または5において光干 渉層の屈折率を n、膜厚を d、記録波長を入と表す表式 において、これらが、

- 1.4≤n<1.6
- $0.33 \le nd/\lambda \le 0.41$
- 600 nm≤\ ≤680 nm

の範囲にあることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項8】 請求項2、3、4または5において光干 渉層の屈折率をn、膜厚をd、記録波長を入と表す表式 において、これらが、

- 1.6≤n≤1.9
- $0.31 \le nd/\lambda \le 0.37$
- 600 n m ≤ λ ≤ 680 n m

の範囲にあることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項9】 請求項6において、半透明層をAuまたはAgとし、該半透明層の膜厚を5~15nmの範囲とすることを特徴とする追記型光記録媒体。

【請求項10】 請求項6において、半透明層をA1とし、該A1の膜厚を1~2nmの範囲とすることを特徴とする追記型光記録媒体。

.【発明の詳細な説明】...

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、レーザーヒームなど5

どの照射により記録再生が可能な追記型光記録媒体に関する。

[0002]

【従来の技術】レーザービームの照射による記録可能な 光記録媒体としてCD-R、DVD-R等の追記型光記 録媒体などがある。これらの相変化光記録媒体はCD-ROMあるいはDVD-ROMと再生互換性があり、小 規模の配布メディアや保存用の媒体として使用されてい る。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】特に大容量メディアであるDVD-ROMと等容量の記録密度の実現が課題となっている。この幅広い普及を図る上で、高記録密度での記録パワーマージンの確保が特に重要な課題である。この確保に関しては、相変化記録材料、合金化可能な2層膜など無機系の記録材料が有利であるが、モジュレーションの不足、あるいはDVD-ROMなどDPD(Differential Phase Detection)を使用するドライブのトラッキング信号強度が不足する等の問題があった。特に、特開平6-171236に開示されるA1-Ge2層膜では熱処理後の反射率が上昇するが、ROM互換を実現する上では、熱処理後の反射率を低下させ、かつ、上記60%以上のモジュレーションを得ることがA1Ge2層膜を使用する光記録媒体の課題となっていた。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明による追記型光記 録媒体は、基板上の半透明層、この上の光干渉層、光干 渉層上の記録層を少なくとも有する。記録層は金属、半 30 金属あるいはこれらの合金から成る第1記録層と、第1 記録層と合金化可能なGeから成る第2記録層を有す る。

【0005】第1記録層の材質は、AI, Au, Ag, Cu, Pt, Pd, Sb, Te, In, Sn, Zn等で、化合物や合金を含む。基板の材質はポリカーボネート、ガラスなどの公知の透明体で、この上の半透明層は、半透明AI薄膜、半透明Au薄膜、半透明Si薄膜など、吸収を有する材質で、所定の透過率、反射率を有する半透明体である。相変化材料も半透明層として使用可能である。光干渉層はZnS・SiOz、SiOz、MgF、Si-N、In-O、Zn-O等公知の誘電体である。本発明の第2は、上記において、モジュレーションが60%以上のものが該当する。

【0006】請求項3に記載の追記型光記録媒体では、第1記録層をAu、Cu、Agあるいはこれらの合金とし、第1記録層の膜厚を30nm以下とする。請求項4に記載の追記型光記録媒体では、第1記録層をAlあるいはこれらの合金とし、この第1記録層の膜厚を20nm以下の範囲とする。

【0007】さらに、請求項5に記載の追記型光記録媒

体では、記録層の層構成が、読みとり光の入射面に近い * 側に第1記録層が配置され、記録マーク部分の反射率が 低下する構成となっている。

【0008】本発明の第6は、本発明の2、3、4また は5において光干渉層の屈折率をn空膜厚をdで記録波等 長を入と表す表式において、これらが、

1.9≦n≦2.5

0.25≦nd/λ≤0.35 📆 600nm≤1≤680nm

の範囲にあることを特徴とする。 (高速) 登場登録 (清) 10

【0009】本発明の第7は、本発明の第2、3、4ま。 たは5において光干渉層の屈折率をn、膜厚をd、記録 波長を入と表す表式において、これらが、システィアの

 $1.4 \le n < 1.6$

0.33≦nd/λ≤0.41

600nm≤λ≤680nm

の範囲にあることを特徴とする。

【0010】本発明の第8は、本発明の第2、3、4、 または5において光干渉層の屈折率をn、膜厚をd、記 録波長を入と表す表式において、これらが、

1.6 \leq n<1.9

0.31≲nd/λ≤0.37

600nm≤\\$6\$0nm

の範囲にあることを特徴とする。

【0011】本発明の第9は、本発明の第6において、 半透明層をAuまたはAgとし、該半透明層の膜厚を5 \sim $16~\mathrm{n}$ mの範囲とすることを特徴とする。本発明の第 10は、本発明の第6において、半透明層をA1とし、 簸A1の膜厚を1~2nmの範囲とすることを特徴とす る追記型光記録媒件である。

[0012]

【作用】本発明では、記録層の前面に、光干渉層が存在 する。この光干渉層の作用は、モジュレーションと反射 率の制御にあるが、基板と光干渉層との間に半透明層を 介在させることにより上記作用が増加する。

【0013】好ましい光干渉層の膜厚と屈折率には、 定の関係がある。また、光吸収層としては、屈折率の実 部が小さく、虚部が適度に大きいほど好ましいが、この 光吸収層の膜厚の好適な範囲は、光吸収層の光学定数に 三二二 过去1000440

【0014】第1記録層及び第2記録層の積層順番は任* 半进明晨Authon。光干渗着ZnSSiO2分Snm

* 意であるが、これにより、記録時の反射率変化が規定さ れる。DVD-ROMとの互換をとるという観点から は、記録マーク部分の反射率を低下させる必要があり、 これは、記録層の層構成が、読みとり光の入射面に近い 側に第1記録層が配置される場合に実現する。この場合 過度に第1記録層膜厚が大きい場合には、光吸収の低 下、あるいは熱拡散の増大による記録感度の悪化、ある いは、ジッタの増加が問題になり、好ましい記録階膜厚 には上限がある。また、第1記録層及び第2記録層の膜 厚は、合金化前後の記録層による反射光の振幅及び位相 差に関連するバラメータでありモジュレーション等に影 響を与える。

[0015]

【発明の実施の形態】図1に本発明に使用される追記型 光記録媒体の層構成を示す。 ポリカーボネート基板 1上 に光吸収層2、光干渉層3、第1記録層104及び第2 記録層105から成る記録層4、樹脂から成る環境保護 層5が順次堆積されている。 光吸収層2はAuまたはA 1からなる。光干渉層3はZnS・SiO2またはSi O2である。第1記録層104はAu、Ag、Cu、A 1等である。第2記録層105はGeから成る。この構 成では、記録後のマーク部の反射率は低下する。基板の トラックピッチは0. 74μmである。

【0016】表1に、本構成の追記型光記録媒体の記録 波長635nm、記録線速7m/s、データビット長 0.267μm/bitでの記録における反射率・モジ ュレーションの第2記録層膜厚依存性を示す。表1で、 Auから成る光吸収層2の膜厚は7nm、ZnS‐Si O2から成る光干渉層3の膜厚は95nm、A1から成 る第1記録層104の膜厚は10 n m、記録再生波長は 635 nmである。第2記録層105の膜厚が50 nm 近傍、及び100mm近傍で大きなモジュレーションが 得られる。Geは屈折率の実部が大きく、吸収係数が比 較的小さいため、Geそのものも干渉層として作用し、 反射率やモジュレーション、及び記録状態と未記録状態 の反射光の位相差に影響を与える。ジッタなどの改善の ために、Ge層の上に付加的な放熱層、あるいは干渉層 を堆積しても良い。

1.1.1

[0017]

【表1】

-7	第1配報書科科	WATER BUTTLE			
41 44 35 7	20, J St. 16(10, 291.17)	第12日南南(I(m))	第2記錄層Ge模算(nm)	反射李(%)	モンコレーションバ
比較例1	N_	10	0	28.5	0.0
- 実施法1	AI .	of 64410 Contractor	10	140	25.0
実施資2	Al .	10	20	23.8	500 ~
実施例3	Al	10	30	25.0	88.0
実施例4	Al : ta	10 - 20 - 20 - 20	50		773
実施例5	M - 64	14 dt . 10 mb	70	30.8	
真液例6	A) -0.60	to the total of the state of the	100	30.1	70.0

30

【0018】表2に第1記録層104がAgの場合のモデザ※ョンは低下する。また、記録感度に関しては、熱伝導及

す。Ag膜厚が3Qnmを上回る場合にほど

ジュレーション、反射率の第1記録層膜厚依存性を示。 変数が記録層の光吸収率の関係でAg膜厚が薄い場合の方が 三2※50 。好ましい。即ち、Ag第1記録層の膜厚が厚い場合し

--000(4) 000-285509 (P2000-285509A)

15.15

THE PROPERTY OF

は、記録レーザービームの吸収が小さく、かつ、熱伝導 による熱拡散が大きく、加熱に多大なエネルギーを要す る。この点からもAg膜厚は30nm以下が好ましい。*

* [0019]

半进明層Aut7nm、光干净層ZnSSiQ2-95nm

半进明篇Auc7nm、光干涉着ZnSS	10295om			A 30 1 2 3 1 1 1	
10000000000000000000000000000000000000		BERGER	Castagona		法下十五額域と
	系 [C性图像(cm)	現ま記録用GeM(II(nm)		10. 心心情能	砂た 仏教 むさい・・・
英族例2	5	30	反射(平(河) 18.9	(s) (s)	15 14 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16
美地兒	10	30	21.0	66.7	争不是是全个并
表演(例10 Ag 表演(例11 Ag	15	30	28.0 34.2	75.0	建 4 元
宴族例12	30	<u>30</u>	42,0	7:3	吴京港出自日午
	50	30	51.8 60.2	75.7	
•	1 T 2 + 4			73.3	

【0.020】表3に、第1記録層がA1の場合のモジュ レーション、反射率の第1記録層膜厚依存性を示す。A 1はAgと比較して、吸収係数が大きく、モジュレーシ ョンの極大を与える膜厚は約20mmである。上記と同※ 半进明層Auc7mm。光干涉着Zn5SiO2-95nm

事典: 4.

> --- (486) (486) (486) (486) 10※様に記録感度の観点からも、A1膜厚は20mm以下が 好ましい。 4. 通過對為其中的內容。 N

[0021]

【表3】

支热例(3 支热例(4 支热例(5 斯I C目用原理(nm) 東2尼律僧Ge国軍(nm) 反射率(5) 25.2

【0022】表4に光干渉層を記録波長635nmでの 20★値があり、nd/λが0.25~0.35の範囲でモジ 屈折率が2.17であるZnS·SiO2薄膜とした場 合の反射率、モジュレーションを示す。第1記録層はA l:10nmで、第2記録層はGe:30nmである。 光干渉層の膜厚85nm付近にモジュレーションの極大★

ュレーションは60%以上となる。 [0023]

【表4】

半計明 Av III (nm) 光十沙唐ZaSSiOZ原(II (nm) 反射學(3)

【0024】表5に光干渉層を記録波長635mmでの 屈折率が1.457であるSiO2薄膜とした場合の反 射率、モジュレーションを示す、光干渉層の膜厚160 nm付近にモジュレーションの極大値があり、nd/Ao 第1記錄層ALIOnm、第2記錄層Ge:30nm

☆が0.33~0.41の範囲でモジュレーションは60 %以上となる。 [0025]

【表5】

A STATE OF THE PROPERTY OF THE	124.21
学述明度Ay基度(nm) 光子沙層SiOZ資源(nm) 支施例26 10 先子沙層SiOZ資源(nm) 支施例27 10 145 支施例28 10 180 支施例29 10 175 支施例30 10 190	nd/A

【0026】表6に光干渉層を記録波長635nmでの 40◆が0.31~0.37の範囲でモジュレーションは60 屈折率が1.766であるA1203薄膜とした場合の反 射率、モジュレーションを示す。光干渉層の膜厚120 nm付近にモジュレー

%以上となる。 [0027]

-ションの極大値があり、n d/λ◆ - 【表6】

	THE PERSON NAMED IN COLUMN 1	EX/W Get/30nm				
	非洲西州人山南				1. d. 1	Mariana de la como de
医施伊31 医施伊32	8	TO X TO B	U2O3PLUE(nm)	nd/ \	反射率(5)	
金属			100	0.250	41,3	#22 /2/00
- 実施何34			160	0.278 - 0.306		44.1
表施供35 表施例38			120	0.334		58.0
基款 例37	 		10	0.36Z 0.389	37.1	84.0
	5 ** - 20 - 10 s s		50 .	0.417 %	43.4 Secry 49.7 Fee	54.8
	・スプを終りい	ī.	7-1-1-20	No 649	Page 19 at 1	** (p.sec 493

.

【0028】表7に半透明層をAuとした場合の反射(ま

(5) 000-285509 (P2000-285509A)

録層は第1記録層がA1:10nm、第2記録層がGi e:30nmである。Au膜厚5~15nmでモジェン ーションは60%を上回る。

* [0029]

20022

	Han god	promitted his profession of the second		A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH		
		半週間度Au程序(nm)	光干涉層ZnSSiQ2原厚(nm)	nd/ \	反射率(%) →	モジュレーション(ロ)
	上收例3	reamined and an and	95 🕾	0.325	50.4	50.0
1.50	买施保38	3	95 (1947)	0.325	0.144,1 042	E5.6
	実施例39	1 1599 S GEASTAN	25 10 1	0325	35.5	.v 63.₫
	- 表記例40	7	85	0.325	25.D	- 58.0
一门 若二的社	英族例41	10	95	0.325	17 10 26.6 - 17 21	- roma : 783 -
	- 実施例42	15	9 6	0.325	18.9 * ****	***** MAY A 815
	- 実施例43	20	95	0.325	11.9	59.8

【0030】表8に半透明層をA1とした場合の、反射 10※用可能であるが、この場合、半透明層は記録時の熱エネ 率、モジュレーションの半透明層膜厚依存性を示す。記 録層は、第1記録層がA1:10nm、第2記録層がG e:30nmである、A1膜厚1~2nmでモジュレー ションは60%をL回る。これ以外に、AgInSbT e、GeSbTe;どの相変化材料も半透明層として使※

5.1.1

ルギーにより結晶化するので、光学定数が変化し、補助 的な記録層としての作用も有する。

超点处 数约约

[0031]

【表8】

第7記錄層Al:tūm, 第2記錄層Gec30nm

L	半透明層AI葉厚(om)	光干沙層2nSSiO2膜厚(nm)	nd/ A	- 反射率(%)	モジュレーション(10
比較例3	0	95	0.325	50.4	50.0
- 连热别44	1	95	0,325	32,8	64.8
页拖例45	2	95	Q325	15.4	63.0
大胞例48	3	95	0.325	7.0	40.0
実施例47	5		0.325	12.6	0.0

【0032】以上のように本発明では、Geと合金化可 能な第1記録層を有する光記録媒体において、記録状態 の反射率が低下す。唇構成で、モジュレーション60% 以上を得た。なま本発明に使用される光記録媒体の層 横成は上記に限行されず、公知の光記録媒体の任意の靖 造が可能である。

[0033]

【発明の効果】本一・明は上記のごとくなしたが故に以下 の効果が生じた。パワーマージンに優れる無機系追記型 30 光記録媒体のモジュレーションが向上し、DVD-RO M等の汎用ドライブで再生可能な追記型光記録媒体を得★

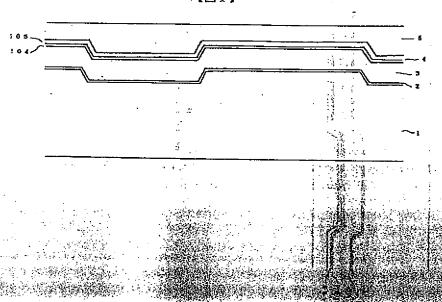
★た。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の追記型光記録媒体の層構成を示す。 【符号の説明】

- 1 ボリカーボネート基板
- 2 光吸収層
- 3 光干涉層
- 4 記録層
- 5 環境保護層
 - 104 第1記録層
 - 105 第2記録層

【図1】



(16) 000-285509 (P2000-285509A)

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

識別記号

G11B 7/24

538

FΙ

テーマコード(参考)

G11B 7/24

538A

(72)発明者 芝口 孝

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式

会社リコー内

Fターム(参考) 50029 JA01 JB03 JB17 JB35 JC20

LB01 LB07 LC06 MA02 MA03